

【取組内容③】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

ICTを用いた授業改善をさらに進めるために

【1学年】

①理科では考察に使えそう

- ・ICTの使い方としてはこれ以上考えがまだ思いつかない。
- ・コミュニケーションツールの1つ（口だけで説明できないもの）
- ・色々な意見をみて、選びたいというときにICTが有効。情報量が多いため、生徒も大変そう。

②

- ・修学旅行の決め事をモデルコースづくり ※大人でも情報が必要

ICTを用いた授業改善をさらに進めるために

【2学年】

①・素早く共有することができる。

- ・共同編集の利便性を効果的に活用することで班の垣根を超えて短時間で多くの人数と意見交換や共同作業ができる。

②

- ・授業で使えるソフトやツールの吟味
 - すべてICTにするのではなく、あえてアナログを利用して活用する
- ・電子教材が生徒も使えるようにする。
- ・ICT 学習カード（振り返り）で、自分も教師も見られるような形で取り組めると良い。

ICTを用いた授業改善をさらに進めるために

【3学年】

①スライドのリンクを使用することで、自分のスライドが消えるということがなくなる→いい方法だから、つなげる時間を短くするために練習させていきたい。リンクをすることで、自分のものをいじられなくて良い。

もどにしたアイデアを見合うのが楽しんで学習できると思う。（美術）

人からのアドバイスを受けて直す前後を見せ合う（美術）

書いて写真を撮って、スライドに貼り付けて考えを共有（数学の証明）

（リンクの仕方を教えてほしい。）

②グループごとに分けていたスライドを、個人にわけて集約することができる。自分の考えたことを可視化させていきたい。リアクション用にも使えるか？

取組内容 **赤字：工夫点**
 校内研修等での職員同士の協議を、
ベテラン・中堅・若手を意図的に組み合わせたグループを作って行い、Googleスライドの共同編集を通じて意見交流を深めていった。

【教職員の変容】

毎回の協議で同じ形を続けることにより、意見交流もスムーズになり、思考も深まりが感じられるようになった。また、以前の協議内容に容易にアクセスすることができるため、効率的な協議を行うことができるようになった。